

保健センターだより



健康講座のお知らせ

日時 2月6日(木)

午後1時30分から3時30分

テーマ 講演「よく眠ることはよく生きること〜眠りのことをもっと知ろう〜」

講師 一般社団法人日本快眠協会

今枝昌子さん

会場

ほほえみプラザ1階 多目的室

対象 町内にお住まいの方

定員 20名

参加費 無料

※申し込みが必要です

申込みおよび問合せ先

健康生きがい課 ☎94-00051



一般不妊治療費助成

一般不妊治療のうち保険適応外の人工授精にかかる費用に対する助成をおこなっています。平成31年3月診療分から令和2年2月診療分については、令和2年3月13日(金)までに申請してください。

対象者 不妊症と診断され、人工授精の治療を開始した時点の妻の年齢が43歳未満であり、申請日において夫または妻のいずれかが町内に住所を有する戸籍上の夫婦。(ただし夫婦合算の前年(1月から5月までの間に申請する場合は前々年)の所得が730万円未満であること)

助成額 自己負担額の1/2相当額(1年度につき上限4万5000円)

助成期間 助成を開始した診療日の属する月から連続する2年間まで

申請方法 印かんと健康保険証をご持参のうえ必要書類を添えて健康生きがい課へ申請してください。

申請書類 大口町一般不妊治療費助成事業申請書、一般不妊治療費助成事業受診等証明書、医療機関発行の治療に要した費用にかかる領収書の原本

問合せ先 健康生きがい課 ☎94-00051

高齢者と障がい者の総合相談窓口

大口町地域包括支援センター便り



認知症について知ろう!

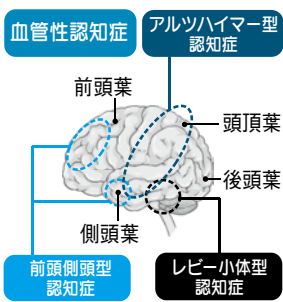
誰にも起こりうる脳の病気によるものではありませんが、認知症という病名はなく、特有の症状を示す言葉であるといわれています。認識や、記憶、判断する力に障害を受け、社会生活に支障をきたす状態のことをいい、原因となる病気により、症状もさまざま大きく4つに分類することができます。

アルツハイマー型認知症 脳にタンパクがたまり、神経細胞を減少させることにより、脳の萎縮が進む病気です。記憶障害が少しずつ進み、日付や曜日がわからなくなり、家事の段取り等仕事の要領が悪くなる場合もあります。認知症を引き起こす主な病気の中で6割ほどを占めます。

レビー小体型認知症 脳にレビー小体という異常なタンパクがたまって神経細胞が少しずつ減っていく病気です。実際には存在しない人や動物、虫等が見える「幻視」や「幻覚」、「幻聴」等が見られます。パーキンソン症状により、動作が鈍くなって転びやすくなります。また、調子の良いときと

悪いときの变化が大きくあらわれるのも特徴のひとつです。**前頭側頭型認知症** 人格を司る前頭葉と言語を司る側頭葉の萎縮が少しずつ進む病気です。同じ行動を繰り返したり、言葉の意味がわからなくなる等、コミュニケーションがとりにくくなります。まるで性格が変わったように、自分勝手な行動や発言をする場合もあります。

血管性認知症 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等により発症する病気です。意欲が低下したり、複雑な作業ができなくなります。高血圧、糖尿病、脂質異常症等を治療することで予防や進行を抑制することができます。



認知症予防の出前講座や教室の紹介をいたします!

問合せ先 大口町地域包括支援センター ☎94-22207

今月の健康俳句

またレシビ 求めらるるや 芋ようかん 安藤 亮子

今月の健康川柳 留守がちの 庭は猫らの 住み家なり 安藤 久子

※このコーナーは、大口俳句会・大口川柳クラブの皆さんのご協力により、「こころ」の健康づくりの一翼を担っていただいています。